

B+COM PLAY

ヘルメット取付マニュアル

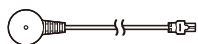
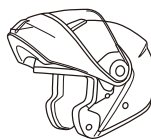


22.06

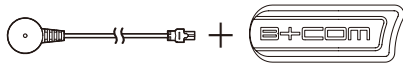
STEP1 ヘルメットタイプの確認

ヘルメットの種類に合わせて
マイクの取付け方法を選びます。

フルフェイスタイプ システムタイプ スポーツジェットタイプ ジェットタイプ



ワイヤーマイク



ワイヤーマイク
+
マイクホルダー※



※ B+COM ワイヤーマイクホルダー 品番：00082120 価格：2,420円(税込)

STEP2 スピーカーの取付け

基本の流れ

スピーカー固定用面ファスナーを貼る ▶ 必要に応じて調整パッドを貼る ▶ 右側スピーカーを取付ける ▶ 配線を内装の裏側に通す ▶ 左側スピーカーを取付ける ▶ スピーカーコネクタを帽体の外側へ出す

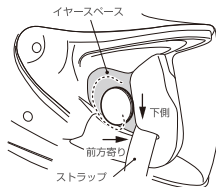
共通ポイント

POINT 1



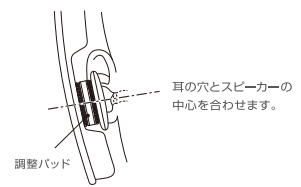
スピーカー単体で本来の音量を確認

POINT 2



スピーカーはあご紐の根本に寄せる

POINT 3



スピーカーは耳にやさしくフィットさせる

ヘルメットごとのポイント

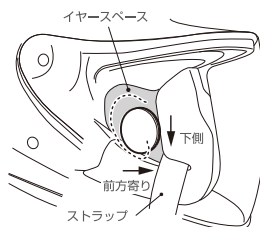
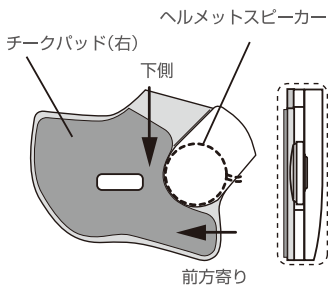
Arai

●システムパッドがある場合

チークパッドを外し、布の中へスピーカーを入れて面ファスナーで固定してください。

●システムパッドがない場合

あご紐側にスピーカーを寄せて設置します。



ポイント

あご紐を通す穴側にスピーカーを寄せて設置すると、耳介への負担が軽減できます。

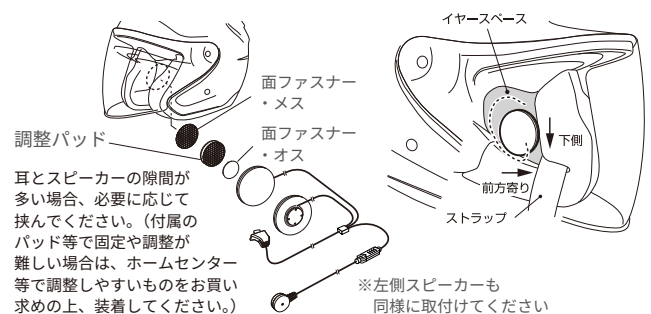
SHOEI / OGK KABUTO など

●イヤールールがある場合

イヤerpッド / イヤールールをを外し、面ファスナー・メスを使用して、スピーカーを設置します。

●イヤールールがない場合

インカムホールがないヘルメットなどは、あご紐側にスピーカーを寄せて設置します。

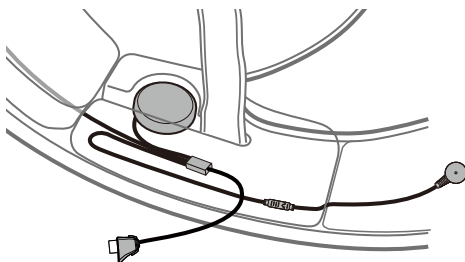


ポイント

「スピーカー固定用調整パッド」を使用して高さを上げ、イヤールールよりもあご紐側に寄せて設置すると、耳介中心部にフィットしやすくなります。

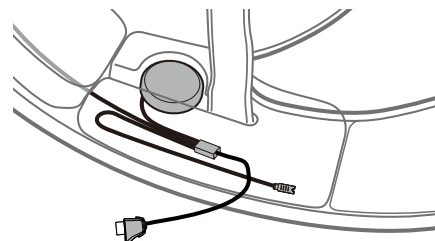
配線のポイント

ホックなどの構成部品に配線（とくに分岐部やコネクタ部分）が噛みこまないよう、チークパッドと帽体のすき間に収納するのがおすすめです。



配線が無理な角度に曲がらず、チークパッドの裏側に収まっている。

●ワイヤーマイクを取付けない場合



余った配線・コネクタは内装のすき間へ収納

注意

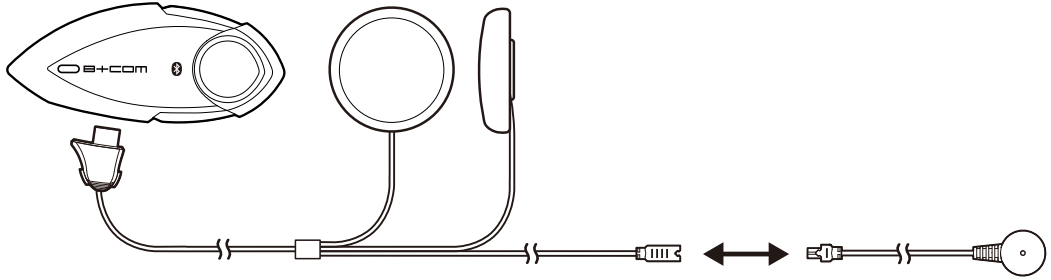
マイクやスピーカーは防水仕様ではありません。オートバイ用のヘルメットへ正しく装着してオートバイ走行環境での使用のみ防水性が発揮されます。

STEP3 ワイヤーマイクの取付け

基本の流れ



装着方法



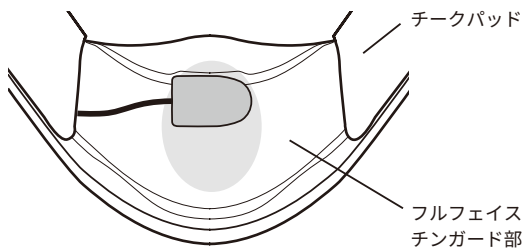
ヘルメットごとのポイント

フルフェイスタイプ

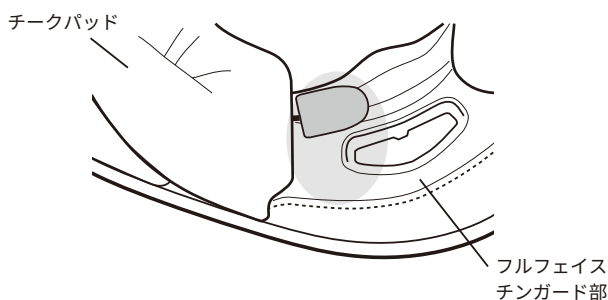


●スポンジ貼付け位置

風の影響を受けやすい、エアインテークを避けた位置へ貼り付けます。

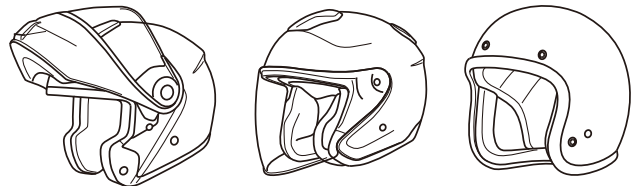


正面に設置するパターン
エアインテークが正面にない場合



左側に設置するパターン
エアインテークが正面にある場合

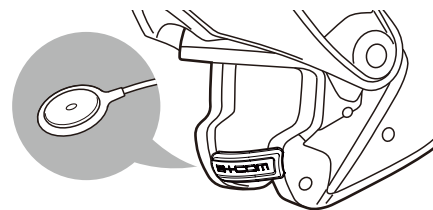
システム/ジェットタイプ



◎ ●ワイヤーマイクホルダーを使う場合



システム/ジェットタイプのヘルメットでは、「B+COM ワイヤーマイクホルダー (別売)」を使用する方法をおすすめします。ワイヤーマイクを口元にしっかり固定でき、スムーズなシールドの開閉が可能です。



品名: B+COM ワイヤーマイクホルダー 品番: 00082120 価格: 2,420 円 (税込)
<https://sygnhouse.jp/products/bcom/wire-mic-holder/>

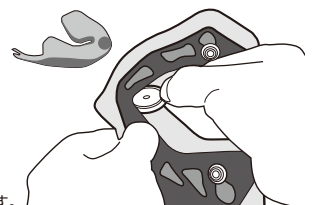
△ ●ワイヤーマイクを仕込む場合



チンガードがない場合、左側チークパッドにマイク集音部を仕込む方法があります。下図の丸に集音部が来るように設置します。

※マイクの裏表にご注意ください。穴の空いている面が口元を向くようにします。

ヘルメットの種類や、チークパッドの形状によっては声を拾いにくい場合があります。



※図はイメージです。

STEP4 本体ユニットの取付け

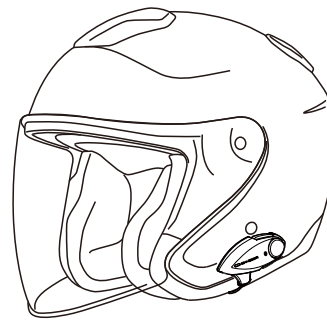
基本の流れ

ヘルメット側面の貼付け箇所を脱脂する ▶ ヘルメットの側面へ面ファスナーを貼る ▶ 本体ユニットを貼り付ける ▶ スピーカーコネクタを接続する ▶ 完成

取付け位置

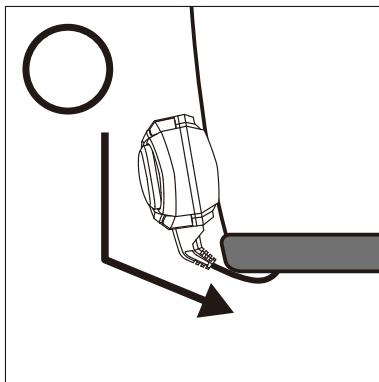


フルフェイスタイプ装着イメージ

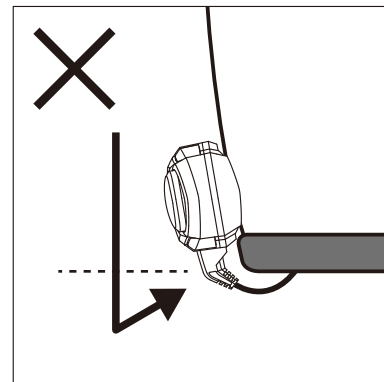


ジェットタイプ装着イメージ

ヘルメットの左側側面へ、段差やホックなどを避けて、本体固定用面ファスナーを貼り付けます。



スピーカーケーブルがヘルメットのフチに沿った状態で、ある程度配線に遊びがあるのが理想的な取付け位置です。



コネクタがヘルメットの下端より出てしまうと床などに置いたときに当たってしまい破損の原因になります。

サポート情報

・ユーザーズマニュアル



<https://sygnhouse.jp/support/manual/>

・ヘルメット取付情報



https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom_helmet/

・B+COM を快適に使うコツ



<https://sygnhouse.jp/products/bcom/tips/>